# 鳥獣保護管理調査コーティネーター募集要項 (令和3年度)

令和3年9月 環境省

### 【令和3年鳥獣保護管理調査コーディネーター募集要項目次】

[	1	)	鳥獣保護管理に係る人材登録事業の概要	1
[	2	)	申請から登録までの流れ	2
ĺ	3	)	申請の際の注意	3
(	4	)	応募方法	4
[	5	)	登録要件	5
[	6	)	審査方法	6
[	7	)	課題小論文	6
ĺ	8	)	注意事項	6
(	9	)	個人情報の取扱いについて	7
ĺ	10	)	登録期間及び更新	8
ĺ	11	)	問い合わせ先	8
(O)	鳥獣	伏伢	R護管理調査コーディネーター登録申請書様式集−−−−−−−	-10 <b>~</b> 15
⊚,	鳥獣	伏伢	R護管理調査コーディネーター登録申請書の記入要領−−−−−−	-17 <b>~</b> 22
©:	知見	킡	客査(小論文)の書き方ポイント	23
<b>⊚</b> :	提出	書	<b>볼類チェックシート</b>	25
			『類に不備や不足がある場合は無効となる場合があります。郵 ボP25のチェックシートを利用してご確認下さい。	送する前

### 〔 1 〕鳥獣保護管理に係る人材登録事業の概要

#### ◎鳥獣保護管理に係る人材登録事業とは

近年、イノシシやニホンジカなど特定 の鳥獣や外来生物の個体数の増加や生息 域拡大等により、生態系や農林水産業等 への被害が深刻化し、集落への出没や人 家侵入などの生活環境被害や人身被害が 発生しています。

このため、全国的、広域的、地域的それぞれの視点から関係者間の合意形成を 図りながら、第一種特定鳥獣保護計画及 び第二種特定鳥獣管理計画、指定管理鳥 獣捕獲等事業実施計画等(以下「特定計画 等」という)、科学的な知見に基づいた計 画的な管理を推進する必要があります。



そこで、環境省(以下「当省」という)では鳥獣保護管理に係る人材登録事業 実施規程に基づき、専門的な知識や経験を有する技術者を鳥獣保護管理の専門 家等として登録し、鳥獣保護管理に関する事業を実施しようとする地方公共団 体や農業団体等の要請に応じて、登録者についての情報を紹介する取組を実施 しています。

#### ◎登録の対象者と登録者の情報提供

鳥獣保護管理に係る人材登録は、地方公共団体が策定する特定計画等の策定 や策定の際の助言を行う「鳥獣保護管理プランナー」、鳥獣保護管理の現場に おいて適切な捕獲方法の指導や集落等への鳥獣の出没対策や被害防止対策等の 助言や指導を行う「鳥獣保護管理捕獲コーディネーター」、そして特定計画等 に必要な生息状況等の調査を行いその取りまとめを行う「鳥獣保護管理調査コ ーディネーター」の3つの専門分野に区分されています。

鳥獣保護管理プランナー、鳥獣保護管理捕獲コーディネーター及び鳥獣保護管理調査コーディネーターとして登録されると氏名、専門分野、専門とする鳥獣、主な活動地域、鳥獣保護管理活動の経歴等の情報が、ホームページ等により公表されます。また、登録者の連絡先等の情報は環境省自然環境局に備える登録簿に記載され、鳥獣保護管理に関する事業等を行おうとする地方公共団体などの要請に応じて、情報を提供します。

# ◎鳥獣保護管理プランナー、鳥獣保護管理捕獲コーディネーター及び鳥獣保護管理調査コーディネーターに期待される役割

各分野の登録者には、鳥獣保護管理を実施しようとする地方公共団体や農業団体等に対して、鳥獣保護管理に関する取組等について専門的な知識や経験に基づく助言等を行うことが期待されます。

### 登録者の専門分野とその役割

鳥獣保護管理プランナー	鳥獣保護管理に関する計画の策定や策定の ための助言を行う。		
鳥獣保護管理捕獲コーディネーター	鳥獣保護管理の現場において、効率的な捕 獲技術や被害防除の指導を行う。		
鳥獣保護管理調査コーディネーター	鳥獣保護管理に関する計画を策定するため の調査や計画実施後のモニタリングを行 う。		

※<u>この事業は、鳥獣保護管理に係る専門家に関する情報を提供するものであっ</u> て、登録によって公的な資格や権利が付与されるものではありません。また、 登録された方について活動の場を保証する制度ではありません。

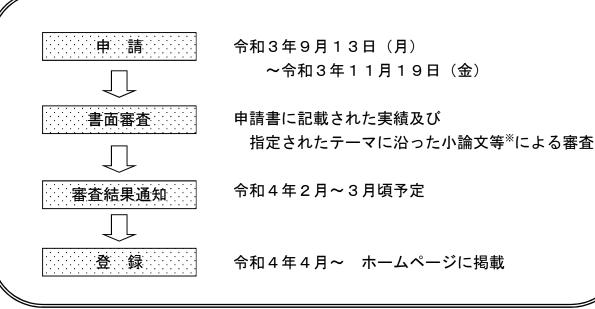
#### ◎民間資格等との連携

本事業では、登録者の活用をさらに促進させる観点から既存の民間資格・認証制度との連携を進めています。相応の知見が担保されている申請者については、知見(小論文)審査を免除する場合があります。

### 〔 2 〕申請から登録までの流れ

鳥獣保護管理に係る人材登録への申請者は、申請期間中に、<u>必要事項を記載した所定の申請書及び各分野で指定されたテーマに沿った課題小論文の提出が必要です</u>(知見審査が免除になる資格があります\*)。

提出された書類及び小論文は審査会によって書面審査を受け、鳥獣保護管理に係る実績と知見を有する者として所定の要件を満たした場合、環境省自然環境局に備える登録簿に登録され、「鳥獣保護管理に係る人材登録事業登録証」が交付されます。



### ※知見(小論文)審査の免除

一般社団法人鳥獣管理技術協会及び一般社団法人エゾシカ協会が認定した以下の資格との連携を図り、知見(小論文)審査は免除となります。

連携する民間資格等	取得内容	知見審査免除の専門分野		
	1 <u>%</u> B	鳥獣保護管理プランナー		
鳥獣管理士	1級 準1級	鳥獣保護管理捕獲コーディネーター		
		鳥獣保護管理調査コーディネーター		
これは発展を	DCC1	鳥獣保護管理捕獲コーディネーター		
シカ捕獲認証	DCC1	鳥獣保護管理調査コーディネーター		

### 〔3〕申請の際の注意

鳥獣保護管理プランナー、鳥獣保護管理捕獲コーディネーター、鳥獣保護管理調査コーディネーター全てにおいて、以下の各号に該当する者は、登録申請はできません。

- 1 未成年者
- 2 成年被後見人又は被保佐人
- 3 鳥獣保護管理に係る人材登録事業実施規程第十三条の規定により登録を取り消され、その日から三年を経過していない者
- 4 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律又は同法に基づく命令の規定に違反して、罰金以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から三年を経過しない者

### 〔 4 〕応募方法

#### ◎ 手数料

申請に係る手数料は無料です。

#### ◎ 提出書類

- ①申請書(P10~P11参照)
- ②申請書添付資料(別紙1-3)(P12~P13参照)
- ③申請書添付資料(別紙2)(P14参照)
- ④申請書別紙1-2及び別紙2に記載した免許・資格・経歴を証明するものの コピー
- ⑤課題小論文 (P15参照)
- ⑤連携する民間資格等の登録証明書もしくは認定証のコピー
- ⑥審査結果通知用封筒(長3(23.5cm×12.0cm)に申請者の連絡先、 氏名を記入し、切手を貼付して下さい。)

### 提出書類は、 ①~⑤×4部 (P25参照)

【原本1部+副本(原本をコピーしたもの)3部=計4部】 ⑥審査結果通知用封筒 1通(切手を貼付のこと)

- ※<u>申請書類に不備や不足がある場合は無効となる場合があります。</u>この募集 要項の最終ページにある提出書類チェックシート(P25参照)を利用し て必ず提出書類をご確認下さい。特にコピー部数の不足が多く見られます ので注意して下さい。
- ※複数の専門分野を申請する申請者の場合は専門分野ごとに、上記書類をそ ろえて提出して下さい。
- ※原本は片面コピーで作成してください。(副本は両面コピー可)
- ※パソコン又はワープロで作成することが望ましいですが、手書きでも可です。手書きの場合はこの募集要項をコピーし、青又は黒ボールペンを使用して作成して下さい。
- ※ホッチキス・感熱紙は使用しないでください。
- ※提出書類は一切返却いたしません。

#### ◎ 申請書の入手方法

下記ホームページから募集要項をダウンロードして下さい。用紙の大きさは

#### 必ずA4サイズとして下さい

http://www.env.go.jp/nature/choju/effort/effort1/effort1.html

#### ◎ 受付期間

令和3年9月13日(月)~11月19日(金)(締切日の消印まで有効)

#### ◎ 送付先

受付は**郵送のみ**で行います。**簡易書留郵便**により、下記宛お送り下さい。

〒130-8606 東京都墨田区江東橋3-3-7

### 一般財団法人 自然環境研究センター内

### 鳥獣保護管理に係る人材登録事業運営事務局

※ 郵送する封筒には、必ず「鳥獣保護管理人材登録事業登録申請書在中」と記 入して下さい。

### 〔5〕登録要件

- ◎鳥獣保護管理調査コーディネーターの登録要件
- ①鳥獣保護管理の専門的な知見に係る要件 提出された課題小論文その他の添付資料について、鳥獣保護管理に関する計 画等の調査に関する十分な知見が認められること。
- ②鳥獣保護管理の実績に係る要件

次のア)及びイ)を満たし、かつ、鳥獣保護管理に関する計画等の調査に係る 経験年数の合計が**令和3年3月31日の時点で5年以上**あると認められること。

- ア)第一種特定鳥獣保護計画、第二種特定鳥獣管理計画、指定管理鳥獣捕獲 等事業実施計画等に必要な調査を実施した経験を有する。
- イ)調査の設計から報告書の策定等まで主体的に取り組んだ経験がある。
- ※実務経験年数は、通算年数で計上しますが、同一期間内に複数の業務を実施していた場合、重複している期間は個別に計上せず、一つの期間としてカウントします。詳しくは、ホームページの「鳥獣保護管理に係る人材登録事業に関するQ&A」をご覧下さい。
- ※対象鳥獣は、イノシシ、ニホンジカ、クマ類、カモシカ、ニホンザル、カワウ 及び外来鳥獣等。

### 〔 6 〕審査方法

審査会によって書類審査を実施します。提出された申請書およびテーマに沿った小論文、または連携する民間資格等の登録証明書等のコピーから所定の要件 を満たし、鳥獣保護管理に係る高い技術を有していると認められた者を鳥獣保 護管理の専門家等として環境省自然環境局に備える登録簿に記載します。

### 〔7〕課題小論文

< 論 文 テーマ > 鳥獣保護管理調査コーディネーター専用

あなたがこれまでに携わった、鳥獣保護管理に関する計画等を策定するための 調査及びモニタリング調査の事例について述べて下さい。その際、その事業背景 を踏まえた調査の目的と重視した点が何であったか、どのような課題があり、ど う対処したかなどについて具体的に記述して下さい。

- ☞ 論文の事例は、様式1-1で選択した対象鳥獣について記述して下さい。
- ☞ 論文は1,500字以上2,000字以内にまとめて下さい。句読点は字数にカウントします。図やグラフは字数に含めず、別添扱いとし、論文の最後に添付して下さい。論文タイトルは形式自由、字数としてカウントはしません。
- ☞ 冒頭に総字数、専門分野、論文タイトルを記入して下さい。
- ☞ 手書きの場合は募集要項をコピーして作成して下さい。
- ☞ 複数の専門分野を申請される場合は、該当する専門分野それぞれについて課題小論文を提出して下さい。
- ☞ 小論文の書き方ポイントについてはP23参照。

### 〔8〕注意事項

- ☞ 鳥獣保護管理に係る人材登録事業は、法律に基づく国家資格制度ではありません。
- 愛 登録者について活動の場を保証する事業ではありません。
- ☞ 登録者として鳥獣保護管理活動を行う場合、謝金等の必要経費は登録者に助 言等を依頼する者の負担です。必要経費等の諸条件は、両者間で直接調整して 下さい。

- ☞ 登録後に申請書及び証明書等の提出書類に虚偽の記載が認められた場合には、登録を取り消すことがあります。
- ☞ 受理した申請書等の書類は、理由の如何を問わず一切返却いたしません。
- ☞ 申請後、氏名、住所、勤務先、電話番号に変更が生じた場合は、申請書を変 更内容がわかるように修正の上、「(4)応募方法◇送付先」に簡易書留郵便 によりお送り下さい。(普通郵便やFAXは不可)
- ☞ 申請書等に不備や不足がある場合は無効となることがあります。この募集要項の最終ページにある提出書類チェックシートを利用して必ず提出書類をご確認下さい。

### 〔9〕個人情報の取扱いについて

当省では、申請者から提供される個人情報について、下記のとおり取扱います。

#### 1. 個人情報の利用目的等

申請書類に記載された情報は、審査等に係る連絡及び登録者に助言等を依頼しようとする者(以下「利用者」という)に所定の情報を提供するために利用します。

環境省自然環境局に備える登録簿には、登録者に係る氏名、生年月日、連絡 先(住所、電話番号、電子メールアドレス等)、専門分野、専門とする鳥獣、 主な活動地域、鳥獣保護管理の活動経歴等の情報が記載されます。

登録簿に記載された登録者の情報のうち、連絡先、生年月日以外の情報については、ホームページ等により公表する場合があります(実際にどのような情報が公表されているかは、以下のホームページでご確認下さい)。

※「鳥獣保護管理に係る人材登録事業」鳥獣プロデータバンク登録者一覧 http://www.env.go.jp/nature/choju/effort/effort1/effort1-1/index.html

<u>また、登録者の連絡先については、利用者が利用申請書を鳥獣保護管理に係る人材登録事業運営事務局へ提出した場合に、当該利用者に限り情報を提供し</u>ます。

#### 2. 利用及び提供の制限

当省は、個人情報を利用目的以外に利用しません。また、法令に基づく場合その他特別の理由のあるときを除き、第三者に提供しません。

#### 3. 安全確保の措置

当省では、収集した情報の漏えい、滅失又はき損の防止その他収集した情報の適切な管理のために必要な措置を講じます。審査の結果、鳥獣保護管理に係

る人材登録事業に登録された場合の個人情報は適切に管理します。登録要件を満たさない方の個人情報は、登録の対象とならなかった旨を通知後に廃棄・削除します。また、申請書類一式は返却しませんので予めご了承下さい。

#### 4. 業務委託

当省では、収集した情報について、その利用目的の達成のため、取扱いを委託する場合があります。その際は、個人情報を適正に取扱っていると認められるものを選定し、契約等により個人情報保護に必要な事項を義務づけ、適切な監督を行います。

#### 5. 個人情報の開示、訂正及び利用停止

収集した個人情報について、申請者本人より開示、訂正及び利用停止の請求があった場合、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第58号)の規定に基づき対応します。

### 〔10〕登録期間及び更新

登録の有効期間は3年間です。必要に応じて活動実績等の報告書の提出を求めることがあります。登録の有効期間内に更新申請書を提出することで登録を 更新できます。

### 〔11〕問い合わせ先

◎ 鳥獣保護管理に係る人材登録事業運営事務局 〒130-8606 東京都墨田区江東橋3-3-7 一般財団法人 自然環境研究センター内

T E L: 03 (6659) 6339

E-Mail: chojujinzai@jwrc.or.jp

◎ 環境省自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室 〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2 TEL: 03(5521)8285

※ 審査結果に関する問合せには、一切応じられませんのでご了承下さい。

# 鳥獣保護管理調査コーティネーター 登録申請書様式集

様式第 1-1 号(第4条第1項関係)

Ψ.		
4		

### <u>鳥獣保護管理に係る人材登録事業申請書</u> <u>鳥獣保護管理調査コーディネーター</u>

写真 1.縦 36~40mm 2.横 24~30mm 3.本人単身胸から上

(ふりがな)					
※氏 名					
生年月日	昭和•平成	年 月	月 日生	( 歳)	
	₹				
現 住 所	電話番号	(	)		
	携帯電話	(	)		
	e-mail:				
	所属先名				
	役職名				
所 属 先	₹				
	電話番号:	(	)		
	e-mail:		,		
	連絡先名				
	役職名				
\•\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	₹				
※連絡先					
	電話番号:	(	)		
	e-mail:				
	□ イノシシ	□ニホ	ンジカ	□ ツキノワグマ	□ ヒグマ
※対象鳥獣	□ カモシカ	□ ニホ	ンザル	□ カワウ	
**************************************	□ 外来種(				)
	□ その他(				)
※活動地域	□ 北海道	□ 東北	□ 関東	□ 北陸	□中部
※ 伯	□ 近畿	□ 中国	□ 四国	□ 九州	□ 沖縄

※鳥獣保護管理活動の経歴(150字程度)					
※特記事項、実績等に関する事項					
(1)実績に関する事項 申請書添付資料 別紙1-3(鳥獣保護管理の調査に関わる実績)に記載	4				
中間音称的質科 別級1-3(局)、休護官理の調査に関わる美額)に記事	<b>X</b> <sub>0</sub>				
(0) 株計 市活					
(2)特記事項 申請書添付資料 別紙2(免許・資格、参加学会及び研修等の受講歴)	こ係る事項)に記載。				
上記により、鳥獣保護管理に係る人材登録事業の鳥獣保護管理調?	杏コーディネーターと」て登録を				
受けたいので、鳥獣保護管理に係る人材登録事業実施規程第4条第					
す。					
鳥獣保護管理に係る人材登録事業に登録された場合は、記載した					
職、対象鳥獣、専門とする鳥獣(対象鳥獣)、主な活動地域、鳥獣係 について、環境省のホームページ等において公表することを承諾し					
	S. 7 0				
年 月	日				
氏 名	印				
環境省自然環境局長 殿					

記入上の注意 「連絡先」等、※がついている項目は登録された場合にホームページ等で公表されるため、公表可能なものを記載すること。

「対象鳥獣」欄には、別紙1-3の実績で記載されている種類について記載すること。 「活動地域」欄には、活動が可能な地域を記載すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。

(別紙1-3)鳥	獣保護管理の調査に	_関わる実績
----------	-----------	--------

*	

#### (1) 鳥獣保護管理に関する計画等の調査に関する実績

行政機関が実施する鳥獣保護管理に関する計画等の調査の実施について、当てはまるものにチェックを 付ける。

- □ 行政機関等が実施する鳥獣保護管理に関する計画等の調査を実施した実績がある。
- □ 行政機関等が実施する鳥獣保護管理に関する計画等の調査の設計から報告書の作成までを主体的な 立場で実施した実績がある。

#### (2) 鳥獣保護管理に関する計画等の調査を実施した実績の詳細

令和3年3月31日までに、行政又は研究機関、民間団体の職員等として関わった鳥獣保護管理の計画等に関する調査(鳥獣の個体数調査、食性調査、生息環境調査等)を実施した実績について、内容及び成果、事業における自らの役割を具体的に記述する。また、自身で報告書を作成した又は一部執筆した場合はチェックを付ける。

		実績の詳細				*
事 業 名						
履行期間	年	月 ~	年	月(	か年度)	
発注機関						
受 託 者 名						
報告書タイトル					報告書作成:□	
対 象 鳥 獣					一部執筆:□	
事 業 名						
履行期間	年	月 ~	年	月( <u> </u>	か年度)	
発注機関						
受 託 者 名						
報告書タイトル					報告書作成:□	
対 象 鳥 獣					一部執筆:□	
備考	・当該様式は、適宜・事業の対象となっ					

### (別紙1-3続き)

事 業 名 履 行 期 間		安徳の部				
		実績の記	羊細			*
履行期間						
	年	月 ~	年	月(	か年度)	
発注機関		***************************************				
受 託 者 名		***************************************				
報告書タイトル		***************************************			報告書作成:□	
対象鳥獣	***************************************	***************************************	***************************************	***************************************	一部執筆:□	
事業名	***************************************					
履行期間	年	月 ~	年	月(_	か年度)	
発注機関	***************************************	***************************************				
受託者名	***************************************	***************************************				
報告書タイトル対象 鳥獣					報告書作成:□ 一部執筆:□	
事業名						
履 行 期 間       発 注 機 関       受 託 者 名	年	月 ~	年	月(	<u>か年度</u> )	
報告書タイトル					報告書作成:□	
対象鳥獣					一部執筆:□	

(別紙2) 免許・資格、参加学会及び研修等の受講歴に関わる事項 (当てはまるものに**▽**を付ける)

(当)	てはま	るものに∠を付ける)	*							
		特記事項(免許・資格、研修受講歴)								
<b>技術士</b> につい	いて (	所持する場合は部門を記入する)								
□ 技術士		部門 (年月取得)								
認定鳥獣捕獲	嬳等事	<b>業者、農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー</b> について								
□ 認定鳥曹	□ 認定鳥獣捕獲等事業者(□ 事業管理責任者 □ 捕獲従事者)									
□農作物野	野生鳥	獣被害対策アドバイザー(農林水産省)								
鳥獣保護管理	里法の	違反歴の有無について								
□ 過去に、	鳥獣	保護管理法に違反したことはない。								
取得年	月	その他の免許及び資格								
入会年	月	所属学会								
立井左	п	□ # 1 上 TT / # TO O D CL								
受講年	月	受講した研修・講習の名称								
7.25	ســـــــــــــــــــــــــــــــــــــ	・資格は生物分類技能検定やビオトープ管理士、環境カウ	ンセラー、環境再							
備	考	生医などを記載する。   ・記入した免許及び資格を証明できるもののコピーを添付:	すること。							

課題小論	<b> </b>	用紙 (	壬聿田)
环烟/1,1	人口/水仙.	$\Pi M \setminus$	一百四八

N/-		
*		
•		

募集要項にある専門分野ごとのテーマに沿って、1,500字以上2,000字以内で記述して下さい。

総 : 論 :	字数 文タィ	イトル	字 /	-	専門	分野					_			
							I							
							1	ı						
			1		1			1						
					1		1	1						
			1	1	ı		1	ı		1				
				1	I		I							
				1	1									
				1										
				<u> </u>										

 $(20 \times 20)$ 

## 鳥獣保護管理調査コーディネーター 登録申請書の記入要領

東式第 1−1 号(第4	事務局記入欄。
	記入しないで下さい。
	<u>鳥獣保護管理に係る人材登録事業申請書</u> <u>鳥獣保護管理調査コーディネーター</u> 1.縦 36~40mm
	必ずふりがなを付して下さい。  3ヶ月以内に撮影した写真を貼ってください。写真裏に必ず氏名を記入して下さい。
(ふりがな)	ちょうじゅう たろう
※氏 名	鳥獣 太郎
生年月日	昭和 平成 40年 12月 2日生( 55歳)
現 住 所	〒000-0000  ○○県○○市○○区○○○丁目○号○番 電話番号 ○○○ (○○○) ○○○○ 携帯電話 ○○○ (○○○) ○○○○ e-mail: ○○○@○○○○○○
所 属 先	所属先名 株式会社〇〇〇センター 〇〇研究部 役職名 主任研究員 〒000-0000 〇〇県〇〇区〇〇丁目〇号〇番 電話番号: 〇〇〇(〇〇〇)〇〇〇 e-mail: 〇〇〇@〇〇〇〇〇〇 都道府県等利用者から利用申込が
※連 絡 先	連絡先名 株式会社〇〇センター 〇〇研 役職名 主任研究員 〒000-0000 〇〇県〇〇区〇〇丁目〇号〇番 電話番号: 〇〇〇(〇〇〇)〇〇〇 e-mail: 〇〇〇@〇〇〇〇〇〇       あった場合、その利用者に「連絡 先」の情報を提供します。公表して も差し支えのない情報を記載して下 さい。 ※ホームページで公表されるの は、連絡先名・役職名のみです。
※対象鳥獣	<ul> <li>✓ イノシシ</li> <li>✓ ニホンジカ</li> <li>□ ツキノワグマ</li> <li>□ 別紙1-3(2)に記入した活動</li> <li>□ 外来種(</li> <li>□ その他(</li> <li>ができます。審査の結果、実績</li> </ul>
※活動地域	□ 北海道 ☑ 東北 ☑ 関東 □ 北陸 □ が確認できないとされた鳥獣は □ 中国 □ 四国 □ 九州 □ 沖縄 <u>登録できません。</u>

※鳥獣保護管理活動の経歴(150字程度)

これまで行ってきた鳥獣保護管理に関する主な経歴等を150字程度に要約して記入して下さい。ここに記載された事項は、登録された場合に公表の対象となりますので、公表しても差し支えのない事項について記載して下さい。

※特記事項、実績等に関する事項

(1)実績に関する事項については、鳥 獣保護管理調査コーディネーター申請 書添付資料(別紙1-3)に記載の上、 必ず申請書に添付して下さい。

(1)実績に関する事項

申請書添付資料 別紙1-3(鳥獣保護管理の調査に関わる実績)に記載。

(2)特記事項

申請書添付資料 別紙2(免許・資格、参加学会及び研修等の受講歴に係る事項)に記載。

上記により、鳥獣保護管理に係る人材登録事業の鳥獣保護調査コーディネーターとして登録を 受けたいので、鳥獣保護管理に係る人材登録事業実施規程第4条第1項の規定に基づき申請しま す。

鳥獣保護管理に係る人材登録事業に登録された場合は、記載した項目(氏名、連絡先の名称、役職、対象鳥獣、専門とする鳥獣(対象鳥獣)、主な活動地域、鳥獣保護管理活動の経歴等の情報)について、環境省のホームページ等において公表することを承諾します。

令和●年●●月●●日

環境省自然環境局長 殿

氏 名 鳥獣

太郎

必ず自署名又は記名押印して下さい。

記入上の注意 「連絡先」等、※がついている項目は登録された場合にホームペーシ等で公表されるため、公表可能なものを記載すること。

「対象鳥獣」欄には、別紙1-3の実績で記載されている種類について申請すること。 「活動地域」欄には、活動が可能な地域を記載すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。

(別紙1一	3) 局獸休護官	生の調査に関	20大領		

	•	
実績のある項	頁目には☑を付けて	け
下さい。		
した実績があ	oる。	

\*

(1) 鳥獣保護管理に関する計画等の調査を実施した実績 行政機関が実施する鳥獣保護管理に関する計画等の調査の実施につ る。

□ 行政機関等が実施する鳥獣保護管理に関する計画等の調査を実施した

□ 行政機関等が実施する鳥獣保護管理に関する計画等の調査の設計から報告書の作成等までを主体 的な立場で実施した実績がある。

#### (2) 鳥獣保護管理に関する計画等の調査を実施した実績の詳細

令和3年3月31日までに、行政又は研究機関、民間団体の職員等として関わった鳥獣保護管理の計画等に関 する調査(鳥獣の個体数調査、食性調査、生息環境調査等)を実施した実績について、内容及び成果、事業に おける自らの役割を具体的に記述する。また、自身で報告書を作成した又は一部執筆した場合はチェックを付け

S <sub>0</sub>		実績の詳				*
<b>丰 业</b>			lπ			•
事業名		——————————————————————————————————————		H /	> <del></del>	
履行期間	年	月 ~	年	月( <u> </u>		
発注機関						
受 託 者 名				***************************************		
報告書タイトル	•	***************************************			報告書作成:□	
対象鳥獣				***************************************	一部執筆:□	
事業名	<b>4</b>					
履行期間	年	月 ~	年	月( <u> </u>	_ か年度)	
発注機関	•			***************************************		
受託者名						
報告書タイトル					報告書作成:□	
対 象 鳥 獣					一部執筆:□	
P10の「申請書」 をした鳥獣につい て下さい。	て、実績の詳細を	を記述し 適宜コピーする	等して、追加	<b>□してよい。</b>		
備考入	・事業の対象と	なった鳥獣の種	類を明記す	ること。		

19

<u>No.</u>

(別紙1-3の続き)

当該様式をコピーして、複数枚提出する場合 は、必ず No を記入して下さい。

実務経験の詳細	*						
事業名 ○○県ニホンジカ特定鳥獣保護管理計画第	<b>兼定のための事前調査</b>						
履 行 期 間 平成 18年 6月~平成 20年	3月 ( <u>2か年度</u> )						
発 注 機 関 〇〇県自然保護課							
受 託 者 名 株式会社〇〇センター							
報告書タイトル ○○県ニホンジカ保護管理計画策定事前調	間査報告書 報告書作成:☑						
対象鳥獣ニホンジカ	一部執筆:□						
<b>業務内容の詳細について記述して下さい。</b>							
│							
「〇〇県のニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画策定のた							
ニントカン・サフのダブルチェックに トスケ自公女 ケ自宓安							
────────────────────────────────────							
一〇〇永卯5久第二程二八〇ノが付足場の日径町国に及めて行りている。]							
などと具体的に担当業務について記述して下さい。							
対 象 鳥 獣							
業務内容							
事業名							
履行期間	月(か年度)						
発注機関							
受 託 者 名							
報告書タイトル	報告書作成:□						
対 象 鳥 獣	一部執筆:□						
	1 h						

(別紙2) 免許・資格、参加学会及び研修等の受講歴に関わる事項 (当てはまるものに☑を付ける)

*
---

		特記事項(免許・資格、研修受講歴)
<u>技術士</u> につい	て (j	所持する場合は部門を記入する)
☑ 技術士 _		環境 部門 (平成 18年 4月取得) 取得年月を必ず記
認定鳥獣捕獲	等事	業者、農作物野生鳥獣被害対策アドバイザーについて 入して下さい。
(当てはまる)	ものに	に ②を付ける)
		等事業者(☑ 事業管理責任者 □ 捕獲従事者)
		獣被害対策アドバイザー(農林水産省)
		違反歴の有無について
☑ 過去に、)	鳥獣	保護管理法に違反したことはない。 
取得年	月	その他の免許及び資格
平成6	1	第4級アマチュア無線技士免許
平成15	2	生物分類技能検定1級 動物部門 哺乳・爬虫・両生類分野
平成19	2	ビオトープ計画管理士1級
入会年	月	所属学会
平成 1 2	6	○○学会所属
受講年	月	受講した研修・講習の名称
平成 1 5	6	○○県野生鳥獣害対策指導者育成研修会
備考	÷	・資格は生物分類技能検定やビオトープ管理士、環境カウンセラー、環境再 生医などを記載する。 ・記入した免許及び資格を証明できるもののコピーを添付すること。

### 課題小論文用原稿用紙(手書用)

*			

募集要項にある専門分野ごとのテーマに沿って、1,500字以上2,000字以内で記述して下さい。

総字			字	:	専門	分野	. 鳥	獣保語	護管 <b>王</b>	里調査	コー	ディ	ネータ	<u>ター</u>					
論又	.グ /	イトル		1															
			7																$\overline{\Box}$
総	字数	女、専	門分	野、氏	名、詞	命文タ	マイトノ	レ   <u> </u>						1	I				
を	記入	して	下さい	١,															
氏	名に	は記入	しなし	ハでく	ださい	١,													
				1										1	I				
													$\backslash\!\!\!\backslash$						
							-005						 	- / <b>L</b> >.	٠,,	<u></u>	F 145	$\overline{}$	
				<u> </u>						00字									
					Щ					グラフ		·致l亡	召 (4) (	9 <b>、</b> /5!		ויבנ	/、	×	
					$\vdash$	の取	(1友   〜 )	がい し	- C P	さい。		1	ı	1				<u> </u>	T
	_													$\setminus$	Ι				T
<u> </u>	□																		
					-				となっ	ている	らか。								
					な過			-											
		-		で保	:護•管	語理の	現状	につし	ハての	基本	的な	理解力	ができ	て	-				
		いるが	-	+ 660			16 A I	<b></b> wh	/m -++	<i></i>	<del>-</del>	—							
				-						管理			–						
										つい									
				る局₹	<b>趴</b> 床i	隻官な	判し医	19 (a)	計画号	等につ	יניכ	<b>埋</b> 脌(	じさし	<b>ر ۱</b>					
		るか。		S IIII A	± 11 =	<b>-</b> 1	<i>-</i>	`# ^` i	`	-1 \ Z -	<b>5</b> 5								
										こいるが 調査及		. – <i>5</i> 1	いん	· M					
		事例:		-		八木品	支吕垤	三三天	ሃወ፤	河 且 ク	ረሁቲ	<b>ー</b> ア:	) ) )	0)					
		-				っ調オ	§ጠ⊟	的市	<b>重相</b> !	た点	がボ	ベムナ	1.アロ	る					
		ー <del>フォ</del> オ か。	5 月 尔	、 C 14日	<i>ውሊ1</i>	一四月上	107 🗖	H 3 / 3	主でし	ノルーボ	/J - <u>VII</u>	101		~ <b>v</b>					
$\vdash \dashv$		-	<b>予業</b> 務	引こ従	事す	るトっ	で発生	1.7-	課題を	がわか	いりや	すく恵	を理さ	ħ.	$\vdash$				
<u> </u>	1	ている		-	· Ŧ /	<b>-</b>	- / 0 -1	- 0 , _	H-17 NC3 /	- 1770	, ,	, ,11		,,,,	<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>
	_													_					

 $(20 \times 20)$ 

#### 知見審査(小論文)の書き方ポイント

知見審査では各専門分野で指定されたテーマに沿った課題小論文を提出していただきます。

各テーマをよく確認し、鳥獣保護管理を実施する上で必要とされる事項について、具体的な課題や対応 等について記述してください。ここでは、各専門分野の知見審査の書き方のポイントをまとめます。小論 文を作成する際の参考にしてください。

#### 鳥獣保護管理調査コーディネーター

- ✓ 読み手に伝わるわかりやすい表現となっているか
- ✓ 文字数の極端な過不足はないか
- ✓ 明らかな違法行為と読み取れる内容が含まれていないか
- ✓ 野生鳥獣の保護・管理の現状について基本的な理解ができているか
- ✓ 鳥獣保護管理法、基本指針、鳥獣保護管理事業計画、特定計画、指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画についての基本的な理解と、従事する鳥獣保護管理に関する計画等について正しく理解できているか
- ✔ 順応的管理のあり方について述べられているか
- ✓ あなたが携わった鳥獣保護管理に関する調査およびモニタリング事業の対象種は別紙 1-3 (2) 実績 の詳細で記述した対象種について述べられているか
- ✓ あなたが携わった鳥獣保護管理に関する調査およびモニタリング事業の背景や目的、事業を実施する上での重視した点が述べられているか
- ✓ あなたが調査業務に従事する上でどのような課題があり、対処したかが具体的に述べられているか

## 提出書類チェックシート

### 提出書類チェックシート

◎申請書類に不備や不足がある場合は無効となる場合があります。

提出書類に不備や不足がないよう、郵送する前に必ず下記の表を利用して御確認下さい。 特にコピー部数の不足が多く見られますので注意して下さい。

番号	書類の種類	必要部数	チェック欄 ☑
(1)	申請書	原本 1 部	
	中胡音	副本3部	
2	申請書添付資料(別紙1-3)	原本 1 部	
	<専門分野ごとに異なる>	副本3部	
3	申請書添付資料(別紙2)	原本1部	
3	<免許・資格、研修の受講等>	副本3部	
4	免許・資格、研修の受講等を証明 又は補完するもの	原本の写し1部	
4	(※申請書別紙2に記載した順番 で添付してください。)	副本3部	
<b>(5</b> )	課題小論文または連携する民間資	原本1部	
	格・認証制度の認定証のコピー	副本3部	
6	審査結果通知用封筒 (長3(23.5cm×12.0 cm)に申請者の連絡先、氏名を記 入し、切手を貼付してくださ い。)	1 部	

<sup>※</sup>番号①~⑤の原本1セット、副本を3セットにまとめてご提出下さい。

<sup>※</sup>①~⑥までのすべての書類をもれなく送付してください。